

助成年度：平成 27 年度

[所属] 法政大学 地域研究センター

[役職] 特任研究員

[氏名] 岩美 麻子

[課題]

大規模パブリックコメントの意見構造把握と可視化のためのテキストマイニング分析手法の開発

[内容]

本研究では、内閣官房国家戦略室によって2012年に実施された「エネルギー・環境に関する選択肢に対する御意見の募集」に提出された全88,634件の意見に対して、機械学習の手法を援用したテキストマイニングを実施することによって、提出された多様な意見の構造（含まれる論点や、ある論点に対する考え方の相違点）を定量的に把握し、可視化することを目的とした。

具体的には、まず3つの選択肢のうち原発依存度ゼロシナリオを支持する意見群とそれ以外の意見群に分類したうえで、論点間の共起に基づくネットワークグラフの描画や対応分析を行うことによって、ゼロシナリオの意見群とそれ以外の意見群の構造の違いを考察した。また、専門家が提起した25の論点を、トピックモデルの一種であるLDA(Latent Dirichlet Allocation)によって機械的に再現できるか検証を試みた。その結果、専門家が提起した25の論点のうち、一部を抽出することに成功した。同時に、次のような課題も明らかにすることができた。まず、トピックを的確に推定するためには対象語数が結果に大きく影響することが明らかになった。本研究では単純な出現回数の上位語を用いてLDAを実施したが、品詞を含め対象とする語の選定方法も併せて検討する必要がある。また、本研究で対象とした大規模PCは、国家戦略室によって25の論点が設定されており、それとの比較によって分析結果の妥当性を検討することが可能であるが、その対応関係を比較する方法を検討することや、語の分類結果を比較しよりの確に論点を表すトピックを評価する方法、各意見の比重を用いたトピックの推定についても、検討する必要があると考えられる。